



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ダイオーズ

コード番号 4653 URL <http://www.daiohs.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大久保 真一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 稲垣 賢一

TEL 03-3438-5511

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (当社ホームページ等)

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,605	7.3	622	38.5	604	32.9	315	26.7
24年3月期第2四半期	7,088	△0.4	449	4.6	454	△0.8	249	△4.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 157百万円 (319.0%) 24年3月期第2四半期 37百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	23.51	—
24年3月期第2四半期	18.56	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	8,561	7,122	7,122	7,122	83.2	530.75
24年3月期	8,888	7,166	7,166	7,166	80.6	534.02

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 7,122百万円 24年3月期 7,166百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,403	7.2	1,002	18.5	1,023	18.3	536	26.4	39.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	13,439,142 株	24年3月期	13,439,142 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	19,152 株	24年3月期	19,152 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	13,419,990 株	24年3月期2Q	13,419,990 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間において当社グループは以下のような施策を実行しました。

なお、文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

#### ①国内部門

前期よりスタートさせた拡販戦略として、新規開拓部門における「エリア担当制営業管理システム」を完成させ、その結果、新規獲得予算を大きく上回る実績を残す事ができました。顧客管理部門においては、年中無休、「365日サービス体制」を全国へ拡大する為の整備を実施し、顧客満足度の向上を目指す環境を整えました。また、上半期を通し、売上の拡大と社員のモチベーションアップを目的とした「全社一斉拡販キャンペーン」を実施し、目標数値を上回る好成果を残す事ができました。特に、ボトルウォーター、ティーサーバー等の契約台数が順調に増加しました。更に、高品質な清掃サービスを提供するカバーオール事業においては過去最多数の新規フランチャイズオーナーの加盟があり、その結果、当第2四半期累計の総売上高は前年同期比101.6%の増収となりました。

管理面においては、営業拠点における運営管理の標準化を目的とした「管理チェックツール」を完成させ、標準化と管理業務のチェックの強化に努めました。同時に、管理部門の合理化を促進させ、その結果、営業利益は前年同期比137.4%の増益となり、売上、利益共に対前年同期を上回る結果となりました。

#### ②米国部門

米国のマクロ景気としては、一進一退は続いているものの当社の営業体制さえ堅固であれば十分に売上成長や利益改善は可能な環境下にあると判断しております。

本年5月にはテキサス州に隣接するオクラホマ州最大のOCS業者をM&Aで統合し、オクラホマシティ支店を、同月にワシントン州スポケーン地区にもM&Aを通じて小規模拠点を新店、開設しました。一方、昨年アイオワ州デモイン市場にM&Aをした際に同じ会社から営業譲渡を受けていた同州シーダーフォールズのデポ拠点に関しては、顧客数や売上も少なく市場的に大きな成長も見込めないことから売却・撤退しております。また、進出して3年を経過したテキサス、コロラド両州など、成長過程にある拠点では販売数量が堅調に増加しております。また、前期にシカゴとデトロイトのそれぞれの市場で実行した追加M&Aの貢献も続いており、当第2四半期累計の総売上高は前年同期比115.5%(ドルベース)となりました。

一方で、経費面では拠点毎に利益を最大化できる「あるべき売上規模」を設定し、その規模に到達するように売上管理をする「モデル経営」を戦略的に導入いたしました。加えて、2006年夏に実施していたシカゴ、デトロイトでの大型買収案件の営業権償却が昨年夏で終了したことにより、前年同四半期との比較上での償却費用負担が大幅軽減されました。その結果、営業利益は前年同期比140.4%(ドルベース)と大幅増加し、増収増益路線が継続しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は76億5百万円(前年同期比7.3%増)、売上総利益は44億17百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益は6億22百万円(前年同期比38.5%増)、経常利益は6億4百万円(前年同期比32.9%増)、四半期純利益は3億15百万円(前年同期比26.7%増)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は85億61百万円で、前連結会計年度末比3億26百万円減少となりました。

流動資産は46億2百万円で前連結会計年度末比4億22百万円減少となりました。これは主に「売掛金」が58百万円増加した一方で、「現金及び預金」が5億46百万円減少したことによるものです。固定資産は39億58百万円で前連結会計年度末比95百万円増加となりました。これは主に「その他」(無形固定資産)に含まれている顧客リストが2億84百万円増加した一方で、「土地」が81百万円、「のれん」が74百万円、「建物及び構築物」が68百万円減少したことによるものです。

負債合計は14億39百万円で、前連結会計年度末比2億82百万円減少となりました。これは主に「短期借入金」が2億3百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、71億22百万円で、前連結会計年度末比43百万円減少となりました。これは主に「利益剰余金」が1億14百万円増加した一方で、「為替換算調整勘定」が1億58百万円減少したことによるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しており、通期の業績につきましては、現時点では、平成24年5月14日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示  
(減価償却方法の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,527,281	1,980,433
売掛金	1,370,118	1,428,608
リース投資資産	223,287	214,664
商品及び製品	488,149	491,936
仕掛品	1,725	3,636
原材料及び貯蔵品	82,585	86,365
繰延税金資産	104,306	106,700
その他	271,441	336,496
貸倒引当金	△43,835	△45,848
流動資産合計	5,025,061	4,602,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	678,610	610,268
機械装置及び運搬具(純額)	252,173	249,366
工具、器具及び備品(純額)	569,143	602,265
土地	743,577	662,364
有形固定資産合計	2,243,504	2,124,264
無形固定資産		
のれん	528,801	454,355
その他	320,173	621,531
無形固定資産合計	848,975	1,075,886
投資その他の資産		
投資有価証券	215,143	190,332
レンタル資産	231,673	269,695
繰延税金資産	179,451	156,451
その他	169,214	166,689
投資損失引当金	△24,467	△24,467
投資その他の資産合計	771,015	758,701
固定資産合計	3,863,495	3,958,853
資産合計	8,888,557	8,561,845

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	360,140	330,939
短期借入金	311,642	108,200
未払法人税等	118,733	167,673
未払費用	271,005	236,546
賞与引当金	127,000	130,676
その他	441,853	354,454
流動負債合計	1,630,375	1,328,490
固定負債		
繰延税金負債	44,105	46,226
資産除去債務	29,956	33,191
その他	17,600	31,309
固定負債合計	91,662	110,727
負債合計	1,722,038	1,439,218
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,051,135	1,051,135
資本剰余金	1,119,484	1,119,484
利益剰余金	5,817,670	5,931,898
自己株式	△7,937	△7,937
株主資本合計	7,980,352	8,094,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,458	3,963
為替換算調整勘定	△817,291	△975,916
その他の包括利益累計額合計	△813,833	△971,952
純資産合計	7,166,518	7,122,627
負債純資産合計	8,888,557	8,561,845

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,088,670	7,605,081
売上原価	2,976,417	3,187,941
売上総利益	4,112,252	4,417,139
販売費及び一般管理費	3,662,900	3,794,976
営業利益	449,351	622,162
営業外収益		
受取利息	652	353
受取配当金	267	700
仕入割引	8,707	7,254
その他	6,562	4,773
営業外収益合計	16,189	13,082
営業外費用		
支払利息	1,135	1,116
持分法による投資損失	1,219	12,176
為替差損	8,096	13,638
その他	220	3,965
営業外費用合計	10,672	30,897
経常利益	454,868	604,347
特別利益		
固定資産売却益	597	653
特別利益合計	597	653
特別損失		
固定資産売却損	88	112
固定資産除却損	988	158
減損損失	—	12,727
投資有価証券評価損	—	10,208
特別損失合計	1,077	23,206
税金等調整前四半期純利益	454,389	581,795
法人税、住民税及び事業税	212,495	255,681
法人税等調整額	△7,200	10,585
法人税等合計	205,294	266,267
少数株主損益調整前四半期純利益	249,094	315,527
四半期純利益	249,094	315,527



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	249,094	315,527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△275	505
為替換算調整勘定	△205,683	△158,613
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,564	△11
その他の包括利益合計	△211,523	△158,119
四半期包括利益	37,570	157,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,570	157,408
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	454,389	581,795
レンタル原価	59,439	53,925
減価償却費	397,970	314,502
減損損失	—	12,727
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,611	2,200
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,063	3,676
受取利息及び受取配当金	△919	△1,054
支払利息	1,135	1,116
為替差損益(△は益)	8,400	2,912
持分法による投資損益(△は益)	1,219	12,176
固定資産売却損益(△は益)	△509	△541
固定資産除却損	988	158
投資有価証券評価損益(△は益)	—	10,208
売上債権の増減額(△は増加)	△20,398	△61,580
たな卸資産の増減額(△は増加)	△30,657	△9,585
リース投資資産の増減額(△は増加)	598	8,622
仕入債務の増減額(△は減少)	522	△21,197
未払費用の増減額(△は減少)	△20,535	△29,799
未払消費税等の増減額(△は減少)	31,778	3,836
その他	△15,796	△67,324
小計	886,300	816,776
利息及び配当金の受取額	919	1,054
利息の支払額	△1,134	△1,267
法人税等の支払額	△118,857	△180,641
法人税等の還付額	654	102,935
営業活動によるキャッシュ・フロー	767,881	738,858
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△166,508	△175,682
有形固定資産の売却による収入	2,773	100,361
無形固定資産の取得による支出	△12,980	△58,232
投資有価証券の取得による支出	△60	△60
関連会社株式の取得による支出	△14,626	—
レンタル資産の取得による支出	△65,524	△99,113
貸付けによる支出	—	△1,200
事業譲受による支出	△86,990	△665,122
事業譲渡による収入	5,243	37,042
投資活動によるキャッシュ・フロー	△338,673	△862,006
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	△200,000
配当金の支払額	△199,935	△200,011
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,935	△400,011
現金及び現金同等物に係る換算差額	△56,585	△23,687
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	272,687	△546,848
現金及び現金同等物の期首残高	2,119,175	2,527,281
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,391,862	1,980,433

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,094,923	2,993,746	7,088,670	—	7,088,670
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48,612	—	48,612	△48,612	—
計	4,143,535	2,993,746	7,137,282	△48,612	7,088,670
セグメント利益	310,620	187,343	497,963	△48,612	449,351

(注) 1 調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,160,614	3,444,466	7,605,081	—	7,605,081
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58,896	—	58,896	△58,896	—
計	4,219,511	3,444,466	7,663,977	△58,896	7,605,081
セグメント利益	414,460	262,056	676,517	△54,354	622,162

(注) 1 調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。